

## インドネシアのシーア派の自己認識における中東の学者たちの影響

筑波大学人文社会系助教 平野貴大

インドネシアのシーア派についての研究は近年増えつつある。イラン革命以降同派の信徒数は世界中で増加し、現在までにインドネシアでは2つの大衆組織が設立された。シーア派信徒の組織化や彼らの活動の一端は近年の研究によって明らかになってきたものの、彼らの宗教思想の背景や特徴はまだほとんど分析されていないというのが現状である。

スンナ派と比較して、シーア派では一般信徒に対する法学者の影響力が非常に大きく、インドネシアの場合、イランやイラク、レバノンの法学者の影響を強く受けてきた。そこで、本発表は文献の読み込みと2022年12月の同国での聞き取り調査を通じて、インドネシアに2つあるシーア派大衆組織 *Ikatan Jamaah Ahlulbait Indonesia*（以下、IJABI）と *Ahlulbait Indonesia*（以下、ABI）の思想に対する中東の法学者の影響を考察するものである。

### シーア派とインドネシア

シーア派はイスラーム教徒の総人口の1割から2割を占める宗派である。シーア派の中では信徒は序列化されており、一般信徒はムジュタヒド（法規定を正しく演繹するための資格を有する法学者）の位階にいる法学者に服従することが義務であるとされる。ムジュタヒドの中にも序列があり、その中で最も学識が高いとされるのがマルジャア・タクリード (*marja' al-taqlid*, 以下マルジャア) であり、現在30人ほどいる。一般信徒は誰か1人のマルジャアを選んで彼の法判断に追従しなければならない。

インドネシアは世界最大のムスリム人口を抱える国家であるものの、そのシーア派人口は非常に少ない。同国にムスリムが2億人以上いるにもかかわらず、シーア派の人数は多く見積もっても100万人から300万人と言われ、実際にはもっと少ない可能性もある。シーア派信徒のほとんどは1979年のイラン・イスラーム革命以降にその思想に共鳴して改宗した人々である。イランから派遣された法学者や中東で留学した後に帰国したインドネシア人の法学者がいるものの、彼らの中にマルジャアは1人もいない。そのため、同国のシーア派信徒は中東のマルジャアを選ばざるを得ない。また、同国では近年シーア派の宗教書の出版が盛んであるものの、インドネシア人が書いた宗教書は少なく、出版物の多くは現代のマルジャアの著作や古典書の翻訳である。

このような状況において、インドネシアのシーア派信徒にとっては日常の実践において常に中東のマルジャアの法判断に服従することが義務となる。また、彼らがマルジャアの著作を読むことでシーア派の教義を学ぶため、中東のマルジャアの思想がインドネシアのシーア派一般信徒の思想と信仰実践に大きな影響を与えることになるのである。

インドネシアで大きな影響を及ぼしてきたマルジャアはハーメネイー、ファドルッラー、スィースターニーだろう。ハーメネイーはイラン革命の指導者ホメイニーの「法学者

の統治」の思想を継承する人物であり、シーア派世界全体の政治的指導者を自任する。ファドルッラーはレバノンの学者であり、「法学者の統治」自体は支持するが、その統治権はイランやレバノンなどそれぞれの国家内にもみ及ぶべきであると主張した。スィースターニーの思想については本発表では考察しなかったが、重要な点として彼が「法学者の統治」に消極的であることを指摘しておく。

**IJABI**：ラフマト (Jalaluddin Rakhmat) が 2000 年にバンドゥンで設立した組織であり、彼はファドルッラーをマルジャアとしていた。ファドルッラーの IJABI やラフマトへの影響を 3 点に絞って見ていく。

①宗派自認：ラフマトは自身の宗派を問われると、Su-Syi (Sunni-Syiah) と、もしくは、単にムスリムとだけ答える。先行研究ではこの発言を単なるタキーヤ (信仰隠し) と見なすが、別の側面からの説明も可能であると思われる。というのも、自著の中でラフマトは Muslim と答える理由をファドルッラーの指示によるものと明言する。また、インタビューに対して、IJABI 議長は「シーア派は預言者のスンナも愛しているという意味で Sunni であると言える。また、家の人々 (シーア派のイマーム) を愛するという意味では Syiah であると言える」という趣旨の回答をした。

②法学者の統治に対する見方：IJABI の議長によれば、「法学者の統治」は良い制度だが、イランの制度であって IJABI はインドネシアの制度を支持するという。これはファドルッラーの「法学者の統治」に関する上記の思想とインドネシアの規則 (建国五原則や憲法を認めない組織は解散させられる) を意識した回答と評価できる。

③IJABI の原則：ラフマトによれば、五原則のうち 2 つはファドルッラーから学んだことである。

**ABI**：IJABI が「法学者の統治」の支持を明言していないことなどへの不満から、ハーメネイーに追従する反 IJABI 派が 2010 年にジャカルタで ABI を設立した。

①宗派自認：組織名に「シーア派」とは入れていないが、同組織の HP ではシーア派であることを隠しているようではない。

②法学者の統治に対する見方：この思想の全面的支持は同国の国家体制を否定することにつながりかねないため、彼らは国家の規則に沿った解釈を示している。彼らによれば、シーア派であることとインドネシア人であることは同列であり、シーア派信徒はマルジャアに服従しているのではなく、自身のマルジャアに頼って相談しているのだという。

以上の分析を通じて、インドネシアの 2 つの大衆組織の思想においてマルジャアの影響が非常に大きいものの、彼らは無条件にマルジャアに服従するのではなくインドネシアの法律遵守のために独自に解釈を行うこともあるということことが判明した。新井先生からのコメントでは IJABI のタキーヤに関する重要な指摘を頂き、発表者の次の海外調査のために重要な視点を得ることができた。